

会 議 要 録

名 称	西予市移住交流促進協議会 部会名：生業・雇用に関する部会	
開 催 日 時	令和2年7月27日(月) 19:30～ 20:30	
開 催 場 所	西予市教育保健センター4階 大会議室	
出席者	委 員	委員 11人
	事務局	宇都宮弘志郎 小林瑛里奈
議事内容(要旨)	<p> 部会長：松本恭典 副部会長：岡田拓巳 ファシリテーター：宇都宮弘志郎 記録係：小林瑛里奈 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・使っていない農地を安くレンタル。アフターコロナ。コロナで出張に行かなくてもよくなり、仕事がスムーズになった。リモートワーク・オンラインの推進を図る。ファームノートの取り組みを参考にするのも良い。 ・人材育成は移住者にとって地域の中でサポートする人が必要。 ・移住者に向けた情報配信でもターゲットを絞った配信内容にした方がいいのではないか。 ・個別に対応できる人が地域に必要。 ・人は減っているけど、コアなニーズはある。(多くはないが) 移住にも目的はそれぞれであり、個々のニーズに合わせたサポートが大切。仕事の技術だけでなく、経営について学べる機会を。農地を安く貸す。 ・呼びかけ方で伝わり方も違う。 ・聞かれたことにも答えられる人が地域に必要。 ・採用のための動き方。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・教育のための場所を作った。接点をつくることで循環していく。機会をつくること。面倒くさいことも進んでいくことでそれが繋がっていく。 ・一人で移住する人に向けたワンルーム系の部屋が少ない。シェアハウスなどあれば、移住にもお試し仕事にも活用可能。 ・市が所有する宿泊施設があれば安く泊まることができ、移住者もインターン利用しやすい。 ・専門性の高い学科を地元高校つくっては。農地、家の問題はありますが、行政で学校をつくらなくてはいけない。 ・成功している企業が連携するのが良い。 ・大学や学生との交流や接点をつくる。 ・シェアハウスやゲストハウスがあれば、気軽にインターンや仕事体験などができる。 ・まずは西予市に来て、体験してもらえ環境を整えること。きっかけづくりをしていく。 ・西予市出身者との関係作りも大事。 ・行政はどこまで何をしてくれるのか。予算をだすだけか。 ・まずは企業（事業者）自らの価値観を高めることが大事。 ・働き方のニーズは人それぞれ。農業だけでも自立したい人もいれば、雇われる方を希望する方もいる。
備	考